

諏訪湖クラブニュース

NO. 46 2026 年 1 月

もくじ

- 謹賀新年 八幡義雄
- 令和 8 年度の元気づくり支援金企画書
- 諏訪湖で見られるミクロの世界
- 「諏訪の湖」雑感…神々のかよひ路…/高木保夫
- スポーツ報道の喜怒哀楽/山田雄一
- スワ・ウォーターアドベンチャー2025/井川竜太
- 下諏訪南小学校で「オオワシと鳥きち爺さん」紙芝居上演
- オオワシ「グル」写真集作成
- 青柳⇄岡谷間開業 120 周年記念諏訪湖鉄道フェスタ盛況
- 高島城をライトアップしました/鴨志田明子
- 学校のプールをビオトープに 岡谷北部中学校 3 年生
- 湖沼水環境保全に関する自治体連携 (琵琶湖の紹介です)
- 理事会報告



筑波山頂より霞ヶ浦、土浦市を望む 奥は太平洋

令和 8 年 あけましておめでとうございます 理事（編集担当） 八幡義雄

私事ですが、私はこの 4 年間（令和 4 年～7 年）、地元のお寺の檀徒総代を勤め、その役がこの大晦日（令和 7 年）の除夜の鐘突きで終わりました。除夜の鐘は、当日 23 時 45 分から突きはじめ、41 番目の札をもった私の孫の時に、その場に居合わせた人たち全員のカウントダウンが始まり新しい年を迎えることができました。

檀徒総代は、定期総会や暮れの大掃除など、年末のイベントがあるために正月の行動が縛られていましたが、この暮れの行事を終えて晴れて自由になったので正月早々に孫たちと茨城県の筑波山登山をしてきました。筑波山は日本百名山にも選ばれている、美しい双耳峰の山で、その独特な姿から「西の富士、東の筑波」と称されています。男体山と女体山の二つの峰を持ち、標高は 877m とそれほど高くはありませんが、豊かな自然と歴史、文化が詰まった魅力的な場所として人気があります。百名山の最後を知人と一緒に筑波山に登る人が多いそうです。

ロープウェイで頂上近くまで行けるので、子供や老人も多くみられましたが、登山路には、昨夜の小雪が 5 cm 程積もったために、皆さん滑らないよう慎重に登っていました。昨日の雪はやみ、雲海が広がる西の方角に霊峰富士山が、南に目を移すと東京スカイツリーが雲の上に顔をだしていました。そのまま東に目を持っていくと太平洋が朝日で白く輝き、その手前には今年の 2 月 2 日沖野会長が講演した「諏訪湖と市民活動」の会場のある土浦市や霞ヶ浦を望むことが出来ました。

都会の人たちは何時も目にする山を霊山として大事にしてきました。私が以前住んでいた神奈川県では丹沢大山が霊山としてあがめられています。諏訪では守屋山（1651m）が気象を占う霊山で、守屋山に雲がかかると雨になるとされています。

諏訪地方では、雨が降らない日照りが続くときは、山の祠をひっくり返して下って来ると雨が降り始めた、という言い伝えがあります。今は、祠の損傷を心配する人たちが祠を守るために、金属製の柵で守られるようになりました。各地にある湖と周辺の山を巡る道をそれぞれに探り、地域の環境保全活動に花を添えるのも面白く、一考の余地があるのではないのでしょうか。



筑波山麓のホテルから 令和 8 年 1 月 3 日

令和8年度元気づくり支援金事業の企画書

事業名 諏訪湖のことをもっと知ろう

(1) 冊子「諏訪湖で見られるミクロの世界」

A4 カラー20 ページ、印刷 4,000 冊 98,100 円

執筆 チーフ/沖野外輝夫 会長

協力 諏訪湖臨湖実験場 プランクトンの写真撮影その他

内容 諏訪湖で見られるプランクトン

アオコの大量発生と衰退

諏訪湖で見られるプランクトンの季節変化

(2) 冊子「諏訪湖の水質浄化の取り組み」

A4 カラー28 ページ、印刷 6,000 冊 188,890 円

執筆 チーフ/八幡義雄 理事

協力 諏訪建設事務所、諏訪湖環境研究センター、

内容 諏訪湖の水質、透明度の変遷

湖沼法、諏訪湖水質保全計画

水質浄化に関する取り組み

諏訪湖下水道の整備

御神渡し

(3) 学習会テキストの作成

諏訪地域の小学校4年生が行っている社会見学用のテキスト作成

B5 カラー20 ページ、印刷 各3,000 冊 79,570 円×2 = 159,140 円

執筆 チーフ/田代幸雄 理事

協力 諏訪建設事務所、諏訪湖環境研究センター、

内容「(1)社会勉強編」諏訪湖業協同組合、浮き漁礁→諏訪湖流域下水道処理場

→釜口水門→下諏訪漕艇場→諏訪湖博物館

「(2)自然・防災編」諏訪湖の水辺整備、なぎさ百選→石彫公園→渋のエゴ→横河川河口/諏訪湖環境研究センター→砥川の河口/渡り鳥

(4) 湖沼水環境保全の5県連携の取り組み

A4 カラー20 ページ、印刷 4,000 冊 98,140 円

執筆 チーフ/井上祥一郎 監事

協力 琵琶湖、宍道湖、中ノ海、霞ヶ浦の自然保護の取り組みを実施している団体

内容 湖沼法一覧表

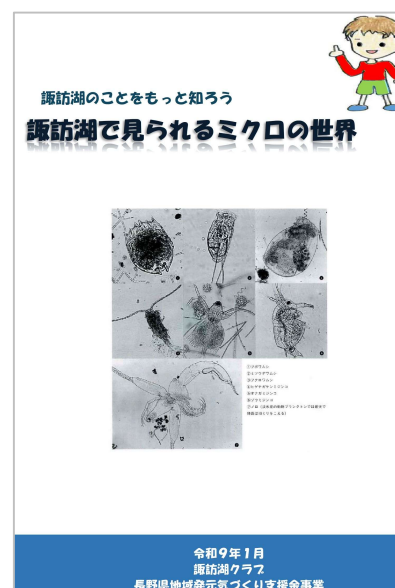
各湖沼の歴史

各湖沼の抱える課題

取材経費他 50,000 円

(5) 作成に係る経費 24,800 円

費用総額	520,000 円
元気づくり支援金	416,000 円

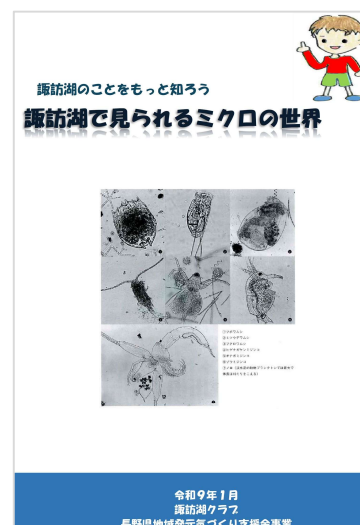


【参考】過去の元気づくり支援金事業内訳	
「諏訪湖に学ぶ」(令和3年、5年、6年)	
総事業費	2,317,510 円
元気づくり支援金	1,683,000 円
諏訪湖クラブ負担金	479,240 円
寄付金他	164,270 円
作成した冊子「グルの記録」他	8 冊
総印刷数	49,760 冊

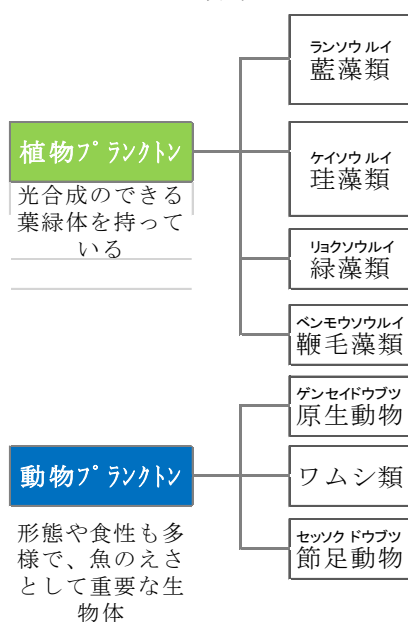
■ 諏訪湖で見られるミクロの世界 …プランクトン

諏訪湖に学ぶ p 18-21

プランクトンの世界にも植物と動物があります。植物は光合成をして栄養分を自分で作り出すことができますが、動物は栄養分を作れないので食べものから必要な栄養を取り込んでいます。しかし、光合成をしている植物プランクトンにも自分で泳ぎまわる種類があり、「動物」と「植物」の境い目ははっきりしていません。これまでは動くものを動物プランクトンとしていましたが、現在では光合成をするうえで重要な役割を持っている「葉緑体」を持っているものを植物、持っていないものを動物として分けるようになりました。



プランクトンの分類



主な特徴

藍色素を有する植物性プランクトンです。アオコなど細胞が群体を作って湖水の表面に集まり易い性質を持った種類もあります

珪藻殻を持つ植物性プランクトンで、諏訪湖ではハリケイソウ、ホシガタケイソウなどです。沈まないように繋がったものが多く見られます

緑色の色素を持つ植物プランクトンで諏訪湖では少なく、養魚池や小さな池などに生息します

ふしぎなことに植物プランクトンですが、鞭毛を使って泳ぎ回りながら光合成をしています

ゾウリムシ、ツリガネムシ、アメーバなどで下水道処理場ではこの種類が水をきれいにします

口のまわりにせん毛を動かして微生物などを食べています

ミジンコ、ケンミジンコ、カイミジンコなど。体は透明で消化器官等の器官がはっきりしています

プランクトンの役割

- 酸素の供給：私たちが呼吸する酸素の約半分は、植物性プランクトンが作っていると言われます。
- 植物プランクトンは食物連鎖の基盤として動物性プランクトンや小魚の主な食料となります。動物プランクトンは植物プランクトンを食べて、そのエネルギーを魚などの大きな生物へと繋ぎます。
- 栄養循環の促進：プランクトンの死骸や排泄物は、微生物によって分解され、再び栄養塩として海中に戻されます。これにより、植物プランクトンの成長を支える栄養が供給され続けます。
- 気候変動への影響

炭素隔離：植物プランクトンは光合成で大量の二酸化炭素を吸収します。死んだプランクトン

■『諏訪の湖』雑観 ---神々のかよひ路---

理事 高木 保夫

「諏訪之海の 氷の上の通ひ路は 神の渡りて とくるなりけ里」 源 顕仲

諏訪の海は、信濃国の歌枕であり平安時代末期から取り上げられた。湖面全体が結氷する珍しさを都人は、想像して詠んだ。本年も、1月5日の小寒から八劔神社による湖面観察が始まった。宮坂清宮司と30人の氏子総代の方々が、立春まで毎朝の湖面観察を続けた。この観察は、嘉吉3年(1443年)から、583年間続いている。半農半漁村の小和田村のご先祖(氏子)が、『御渡帳』として観察記録を繋いできた。気象研究者ではないアマチュアが結氷の記録を残した。農作物の作柄、米の値段、洪水や干ばつといった災害、生活の異変、困ったことなどが付記されている。

天明2年(1782)の付記には、「7月2日より浅間山大焼、飢え人村々に有り」と記される。天明の飢饉である。大正6年(1917)2月15日には、「所沢陸軍航空隊の諏訪湖水面上での離着陸飛行試験。カンナクズ、石炭殻を敷く。一般人民は観覧のため立錫の余地もなき数万人の人出なり」と諏訪湖上御渡注進録に記録された。宝暦9年(1759)は、明けの海となって幕府への時献上の「氷餅」ができず藩主は困り果てて、霧ヶ峰強清水に小屋掛けしてやっと作ることができたという。

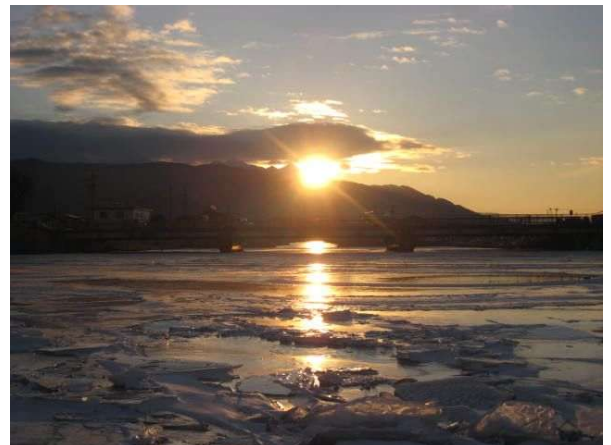
八劔神社では、御渡りができると「御渡り神事」が行われ、御渡りの走行状況を確認して、過去の記録と比較する。今年の世の中の吉凶や豊作、不作を占った。百姓が先を見通すための貴重な手がかりや知恵を、御渡りに求めた。古い祭政体が神意を知る方法としては、諏訪大社下社春宮に筒ガユ神事が残っている。1月15日の夜、土釜の中で米五合とあずき二合が煮られる。その中に、五寸ほどのアシの茎をイモがらで結び、簾にまいた束を入れる。翌朝、その中に入ったカユ粒の数で、その年の、ウグイスナはじめ43種の吉凶を占った。この筒ガユ神事は、各地の神社に残されている。

これに対して、さらに古い占いが中国の古代にはあった。亀甲・鹿甲方法である。亀の甲や鹿の肩甲骨にいくつかの穴をあけ、そこをあぶって、ヒビのはいった割れ方で占う。この方法が雄大なスケールで残ったものが、御神渡りの拝観だという/『藤森栄一全集第6巻』301頁

八劔神社の氏子の徭役で得た記録は諏訪神社へ上奏され、さらに朝廷へ報告、朝廷では神祇官や占部が年間の日本の運命を占ったともいわれる。やがて報告先は幕府へ、宮内庁への言上を経て気象庁へと移管されてきた。ちなみに、「当大明神御渡のこと、湖上で御参会」と記録にあるとおり、神聖な尊いものが渡るのが「御渡」である。現在は「神渡」という日本酒の登録商標が一般的になっているが、正式には神はつけない。

令和7年1月5日(日)の初日、午前6時半に小学1年の孫と一般参加した。諏訪市豊田の舟渡川河口の気温は零下6度8分、水温は1度2分であった。宮坂宮司は、地元の漁師が「セミ」称す現象を紹介した。一時解氷した水面が再結氷するときに見える、蟬の羽のごとき針状氷である。朝焼けが気持ちよく、北アルプスの常念岳が美しかった。1月8日(水)は、諏訪郡原村へ移住された鬼頭秀一先生と一般参加した。気温零下1度9分、水温3度3分であった。昨日の雨で水温が上がり、岡谷市の湊方面からしぐれてきた。20年来、三人委員会の哲学塾でお世話になっている鬼頭先生が初参加された。その後朝風呂につかり、諏訪が舞台となった『鹿の國』を観て、下社秋宮の門前で蕎麦を啜った。

1月12日(日)は、再び小1の孫と参加。気温零下8度2分、水温2度4分。今冬いちばんの冷え込みであった。孫は、氏子総代が氷斧で割った3センチの透明のアブラゴオリを持たせてもらった。零下10度が3晩続くと氷



八ヶ岳からの日の出

厚が8センチとなって、亀裂が走る。それでは、この「御渡り」は、どのようにしてできるのだろうか。

諏訪湖が全面結氷した際に、氷が寒暖差によって膨張と収縮を繰り返す。湖の水温と外気の温度が違っていると、氷に割れ目が入る。この氷が触れあってせりあがる。湖面を横断するように氷の筋道を見せる自然現象が、「御渡り」である。上社から下社に向かってできることから、男神さま(上社：建御名方命)と、女神さま(下社：八坂刀売命)を結ぶ道だといわれている。神々のかよひ路である。氷の鞍状隆起現象(アイス・ランバート)は、北海道のオホーツク海沿岸の屈斜路湖でも見られる。中国北京の北海公園でも御神渡りが発生するが、これを「中国人の研究者がオミワタリといっているのに驚いた」と、市川健夫先生が記されている。/『信州学大全』352頁

直近の拝観式は、2018(平成30)年2月5日(月)であった。当時八劔神社の氏子大総代であった宮坂平馬氏から、別掲の写真を分けていただいた。

令和6年(2023)10月19日(木)、気候変動をテーマにしたグリーンピースジャパンの制作した短編映画「みわたり」が、タイ国第4回バンコク映画祭でグランプリを受賞した。大干ばつ、森林火災、洪水、海面上昇による諸島の水没、氷河崩壊、そして明けの海。地球温暖化が続いていけば30年後の農作物、食生活、自然生態系、暮らし、地球はどうなるのか。諏訪湖が7季連続の「明けの海」となったことには、地球温暖化の影響もあるだろう。

一方、諏訪湖が地球温暖化の根源でもあることにも触れたい。みなさんは、「釜穴」をご存じだろうか。湖底から湧水やガスが発生していると冬期に全面結氷してもこの部分は結氷しない。メタンガスが発生し、同時にその上部の水が動くことで氷が張りにくくなる。/沖野外輝夫『諏訪湖マイクロコスモスの世界』26頁

「諏訪湖は下から質のいい温泉が出る。こんな浅い湖だけれども、大きな魚が棲める理由はここにある。温室を水中に作ったらうんという結果がでるんじゃないか。こいつを調べたい」---

日本の近代陸水学(湖沼学)の開祖ともいわれた吉村新吉である。1947年1月21日に諏訪湖で亡くなった。観測器具を橈に乗せて、氷の下の諏訪湖を研究に出かけた。観測器具を捨てることができずに39歳で亡くなられた。観測器具を絶対離さない。科学のために命を捨てる情熱を、筆者の恩師が紹介している。/『理想の花の咲かむまで 牛山正雄先生記念文集』128頁

明治時代、諏訪湖南方の地域には三千ともいわれる風車があった。百姓は、液肥を汲み上げた。メタンガスを含む地下水である。現代は、この天然ガスを集める方法について、信州大学の朴虎東教授らが研究されている。諏訪湖からのメタンガスは、牛のゲップ何回分であろうか。

結びに、黒姫～由布院～長崎ハウステンボスを巡って、生涯の仲よしだったお二人が、奇しくもそれぞれに諏訪湖へのメッセージを残された。CW ニコルさんと池田武邦先生である。「子供にもっともっと諏訪湖で遊んでほしい。諏訪湖は宝石のようになる、ボクは信じていますよ。子どもが泳げるようになる。子どもは自然になくてはならないもの」(1995年3月29日 ニコル氏)。

「自然と付き合っていくには、なによりも人間の側に作法が必要。自然と人間の調和は、このような作法すなわち自然を尊ぶ精神による」(1996年11月6日 武邦氏)

2019年3月に「諏訪湖創生ビジョン」が策定された。20年後をめざしての行動計画である。諏訪湖クラブも、諏訪地域振興局と協働して事務局メンバーとして「学び」を推進している。「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」ほか冊子を、諏訪地域の小・中学校他へ配布できた。諏訪でも、循環・経済の視点もった若者が育ってきている。

縄文時代よりご先祖が見てきた諏訪湖。信州教育の中でも、「諏訪は理科」といわれてきた。諏訪湖を観つづけて、自分がどこに立っているのかを発見してきた。その景観がそこに棲む人々の精神の反映であるならば、次代は潔く未来の人に任せたい。「神々の通い路の復元」を心から願いつつ。

スワ・ウォーター・アドベンチャー2025 開催報告

～諏訪湖の「今」を体感する 1 日～

株式会社アポルタ 代表取締役 井川 竜太

2025 年 8 月 3 日、諏訪湖で「スワ・ウォーター・アドベンチャー2025」を開催しました。本イベントは、諏訪湖創生ビジョン推進会議が主催したもので、水辺でのアクティビティを通して諏訪湖の魅力や水質の改善を体感していただくことを目的として実施されたものです。

会場は下諏訪町の赤砂崎公園 砥川河口右岸湖畔から沖合約 100m間の湖上エリアです。身長 85cm 以上の 3 歳から参加可能とし、地域住民の皆さまを中心に多くの方のご参加をいただきました。

募集定員 160 名でしたが 174 名の方からご応募をいただき、当日は 153 名の方にご参加をいただきました。スタッフは 11 名体制で陸上湖上の両方をしっかりと管理しました。

■ 湖上に浮かぶ「人工島」へ渡る体験

イベントの大きな特徴は、長さ約 12 m・幅約 6mの台船 2 隻と、その間に 4 枚の SUP ボードを連結して架け渡した 2 列の「SUP 橋」により構成した、湖上に浮かぶ島です。参加者がカヤックに乗り、自らの力で渡り、上陸し、遊ぶ体験は、まさに諏訪湖との距離を近づける特別なプログラムとなりました。SUP 橋では、慎重に進む方、わざと湖に落ちて楽しむ方、何度も挑戦するお子さまの姿など、多様な楽しみ方が見られました。「湖に入ること自体が初めて」という参加者も多く、水辺で遊ぶ機会が少なくなった現代において、貴重な経験となったようです。



湖面に浮かぶ人工島



SUP 橋にチャレンジする参加者



SUP 橋から落ち、諏訪湖を楽しむ参加者

■ カヤックで自由に湖上散策

当日は各回 90 分×4 部制で実施し、参加者はライフジャケットを着用、安全講習・パドル操作説明を受けた後、カヤックで湖上散策に出発しました。沖合に向かう途中、湖から見える下諏訪町の景色や山々を眺めながら、諏訪湖の大きさと自然環境を実感していただきました。安全を最優先で実施し、事故・怪我人なく全日程を終了することができました。



親子でカヤック体験

■ 地域に根づく「親水」のきっかけに

終了後には、砥川で水遊びを楽しむご家族の姿が多くみられました。「また諏訪湖で遊びたい」「湖がきれい」「諏訪湖のことが好きになった」という声が多数寄せられ、アンケートでも親水意識の向上が確認できました。本イベントが、単なる一日の体験にとどまらず、諏訪湖を「使い、楽しみ、未来へ守る」文化につながる一歩になったと感じています。



砥川河口で遊泳する参加者

■ さいごに

運営協力としてご支援いただいた諏訪地域振興局の皆さま、下諏訪町役場の皆さま、アルピコホテルズ株式会社様、西浜丸の皆さま、そして参加者の皆さまに心より御礼申し上げます。株式会社アポルタは今後も、諏訪湖を「身近な暮らしの水辺」へと近づける取り組みを続けてまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



参加された皆さんと記念撮影

■ 下諏訪南小学校4年生に「オオワシととりきち爺さん」を上演

紙芝居の大きさ（B4サイズ）は十数人程度向けですが、大きな紙芝居を作成し上演をしました。①

日時 令和7年10月18日(金)

場所 下諏訪南小学校

参加 4年生児童 74人

福の会（絵手紙の会；紙芝居「オオワシと鳥きち爺さん」制作に参画）；宮沢みち子他

下諏訪南小の読み聞かせの時間にグルの紙芝居を上演しました。4学年の児童達でした。授業で諏訪湖について学んでいた事もあり、とても熱心に見てくれました。



大型紙芝居の上演

実物大のグルのパネルを見てその大きさにびっくりしていました



紙芝居の箱に貼ったタイトル



令和5年9月13日長野日報掲載記事
下諏訪町宮坂町長に贈呈式



② 真剣に聞いてくれました

年中さんが入るとのこと、優しい文を用意したのですが最後まで真剣に聞いてくれました

【紙芝居上演の経過】

令和5年度

- 9月30日 下諏訪町立図書館
- 10月1日 諏訪湖の日のフォーラム紙芝居展示
- 10月14日 諏訪図書館読み聞かせ読み聞かせ会
- 11月20日 みなと保育園年長年中の園児 ②
- 11月16日 シニア大学にてPPで上演 ③

令和6年度

- 5月11日 デイサービス湯の郷 諏訪市
- 8月26日 大型版紙芝居完成
- 11月6日 和が家「新倉」岡谷市 上演
- 3月26日 ザ・くるま座（湖畔病院）岡谷市 ④

令和7年度

- 4月30日 ウェルハートおかや 岡谷市
- 5月22日 絹の郷 岡谷市
- 6月13日 とよだの社 諏訪市
- 7月21日 子供夢広場 茅野市
- 8月11日 西山の里 諏訪市
- 9月11日 グレイスフル岡谷（GH）
- 9月22日 グレイスフル岡谷（DS）
- 10月3日 ケア梨久保 岡谷市
- 10月6日 柴宮館 岡谷市
- 10月18日 下諏訪南小学校4年生 ①
- 11月19日 デイサービス 湯の里 岡谷市
- 12月19日 下諏訪南小学校6年生

シニア大学のグループ3班は紙芝居をパワーポイントにして発表しました。



③ 3班によるステージ発表



④ 感激して涙を流す人もいました

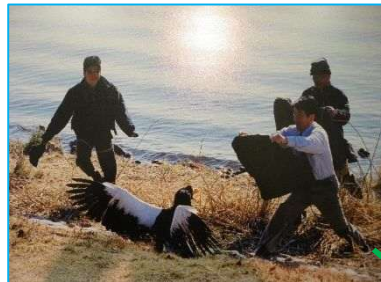
紙芝居を見る子供たちにオオワシ「グル」のことを知っていただくために作成しました

諏訪湖を愛した オオワシ「グル」 19年間ありがとう (1999~2018)

平成11年1月4日、諏訪湖に落ちて弱っていたオオワシがいました。このワシは鳥が大好きな人たちに助けられました。49日間、みんなで一生懸命お世話をして、元気になったワシを空に返してあげました。するとこのオオワシは、そのお礼をするかのように、平成30年まで19年間も、毎年冬になると諏訪湖にやってくるようになりました。このワシは「グル」と名づけられ、地域のたくさんの人たちと心あたたまる交流をしました。また、諏訪湖がオオワシが生きていける、豊かな湖であることを教えてくれました。

助けられた1月4日、その日のうちに岡谷動物病院で調べてもらい、けがはしていないことがわかりました。その日から、天竜川のそばにある古い家で、グルのお世話が始められました。ワシがぶつかってけがをしないように、壁にはダンボールをたくさん貼りつけました。えさは、タラやクロメバルという魚や、お肉などをあげました。くちばしのよこから、そっと入れてあげました。少しずつ、グルは元気になっていきました。

1月31日からは、空に返すための飛ぶ練習を始めました。そして2月21日、49日目に、諏訪市豊田にある広い田んぼで空に返しました。電線がない安全な場所を選びました。心配して集まった地域の人70人と、新聞やテレビの人10人が、グルが飛び立つのを見守りました。



おののくオオワシ捕獲作戦



接近できたのは衰弱がつづく証拠



越冬地 繁殖地



電線などない諏訪市豊田で放鳥
住民の方には手を合わせる人も

放鳥した翌年の1月28日に諏訪湖にやってきたグル



平成12年、放鳥の翌年に諏訪湖に飛来したオオワシ。「グル」と確認できたのは右脚のリングと後頭部にある白い斑紋だった。このシーズンはグルの飛来が遅く、飛来の時期をすぎたため再来は望み薄とされていた。1月28日の確認は最も遅い記録となった。

ニッポン放送 長野県民新聞 下諏訪市民新聞 諏訪市市民新聞 茅野市民新聞 たつの新聞 みのり新聞 信濃毎日新聞

昨年保護されたオオワシ ロシアから諏訪湖へ舞い戻る



再来を伝える市民新聞掲載記事

オオワシ「グル」のその後

和暦	西暦	年齢	御渡り	出来事
平成8年	1996	1		1月9日 諏訪湖に初めてやって来たことが確認される
平成10年	1998	3	○	
平成11年	1999	4		1月4日 衰弱して諏訪湖に落ちていたところを助けられる
				2月21日 諏訪市豊田の田園地帯で放鳥（ほうちょう）
平成12年	2000	5		1月28日 飛来を確認
平成15年	2003	8	○	
平成16年	2004	9	○	
平成18年	2006	11	○	おおわしの幼鳥1羽が飛来
平成19年	2007	12		朝日小学生新聞（2月4日発行）のマンガにグルが登場
平成20年	2008	13	○	おおわしの幼鳥1羽が飛来
平成21年	2009	14		助けられて10年目の年 オオワシ回帰展、講演会など開催
平成22年	2010	15		大和砂防えん堤工事グルに配慮し着手延期（1月15日新聞掲載）
				高林君作成おおわしグルの彫刻が「コンクール」で金賞受賞
平成24年	2012	17	○	中部電力が高木ー上諏訪間の高架の感電防止
平成25年	2013	18	○	
平成26年	2014	19		諏訪湖にオジロワシがやって来たがグルは排撃（はいげき）
平成27年	2015	20		成人した神明小卒業生（グルと同じ年）10年ぶり観察会
平成30年	2018	23	○	1月14日 もう1羽のおおわしが飛来、3月3日グル北帰行（最後）
平成31年	2019	24		その後姿見せず

■オオワシについて学ぼう

オオワシは、日本にやってくるタカやワシの仲間の中で一番大きな鳥です。オスの体の大きさは88cm、メスは102cmもあります。羽を広げると220cmから250cmにもなり、体重は5kgから9kgもあります。くちばしはとて大きくて曲がっていて、長さは66mmから75mmです。くちばしと足の色は、黄色やオレンジ色をしています。



獲物をつかんで飛ぶグル

どこに住んでいるの？

オオワシは夏の間、ロシアの東の方(カムチャッカ半島やサハリンなど)で赤ちゃんを育てます。冬になると、もっとあたたかい場所で冬を過ごすために、朝鮮半島やカムチャッカ半島の南の方へ移動します。日本には、冬になると北海道や本州の北の方にやってきます。

どんな暮らしをしているの？

オオワシは海の近くや川、湖などで生活しています。移動しているときや冬を過ごす場所では、何羽かで小さなグループを作って一緒に生活することが多いです。冬を過ごす場所では、水の近くにある木の上で休みます。食べ物は、主に魚を食べますが、鳥や小さめの動物、死んでしまった動物なども食べます。海の上を飛びながら、または木の枝や岩の上で待ちながら、えものをさがします。オオワシは1970年に国の天然記念物に決められました。

■ オオワシ「グル」の写真集の作成

岡谷市の写真家伊藤静さんは、オオワシが諏訪湖に飛来した1996年～2018年までにわたって、オオワシ「グル」の生態の写真を撮り続けて20数年間、多くの写真を記録にすることが出来ました。四つ切写真が60枚ほどになりました。故人となり遺族の方がその写真を有効に利用して頂ければと日本野鳥の会の諏訪名誉支部長でおられる岡谷市の林正敏さんに託されました。すべて臨場感にあふれた写真ですので写真集を作成しこれからも皆様に見て頂ければ幸いです。

オオワシ「グル」の写真集

- ・冊子の仕様 A4サイズカラー中綴じ 36ページ
- ・印刷費用 300円/冊 令和8年2月末までに八幡理事に申込み下さい。 携帯090-1867-3249
- ・発行 令和8年3月の諏訪湖クラブ理事会にて配布
- ・冊子の目次

オオワシ「グル」の軌跡	… p 1
諏訪湖に戻ったオオワシ「グル」	… p 2
オオワシについて学ぼう	… p 3
「グル」のねぐら	… p 4
諏訪湖での狩りの様子	… p 8
獲物の争奪戦	… p 22
氷の上は休憩場	… p 26
「グル」の勇壮に飛ぶ姿	… p 32



冊子の表紙（案）



①おののくオオワシ捕獲作戦



②接近できたのは衰弱がつづく証拠

③電線などない諏訪市豊田で放鳥
住民の方には手を合わせる人も

A black and white photograph showing a large crowd of people gathered in front of a building. A sign on the building reads "迎都祝" (Welcoming the Capital). The crowd is dense, and the scene appears to be a public event or celebration.

長野県内の鉄道開通年度

明治36年4月1日
当時の供用開始区間

信濃鉄道(株)
S32.6.15

糸魚川駅

長岡駅

関山駅
M19.8.15

長野駅
M22.5.1

篠ノ井駅
M21.8.15

上田駅
M21.8.15

大屋駅
M21.8.15

田中駅
M21.8.15

軽井沢駅
M26.4.1

横川駅
M18.10.1

高崎駅

全線開通

明治26年碓氷トンネルの
難工事が完成し信越本
線全線が開通した

信越本線の新潟方面は
明治22年にはつながら
り、
鉄道建設資材が新潟港
から入ってきた

明治35年12月には篠ノ井
線が塩尻駅まで開通した。
西条石炭が塩尻峠越えて
岡谷に入ってきた

塩尻岡谷間はM39年
まで3年間索道で輸送

塩尻トンネルS58.7.5

岡谷駅

上諏訪駅
M38.11.25

富士見駅
M37.12.2

小淵沢駅

甲府駅
M36.6.11

大月駅
M35.10.1

八王子駅
M22.8.11

立川駅
M22.4.11

新宿駅

明治29年日本初の請願駅
として大屋駅が開業し、和
田峠経由で岡谷などが諏訪に
入ってきた

明治44年5月、木曾福島と
宮ノ越間が開通し、筑豊の良
質な石炭が入ってくることに
より西条石炭はさびれた

明治37年、諏訪の蚕糸業界が
塩尻と岡谷間下を結ぶ索道
を建設し、短期間ではあるが
西条石炭などを運んだ

明治37年2月、日露戦争が
勃発し、全国の公共事業がス
トップしたが、諏訪の蚕糸関
係者が公債を買い取り工事が
再開し、明治38年11月に
岡谷まで開通した

碓氷トンネル
延長L=4.65km
M29.12~M35.11

M19.8.15

M22.5.1

M21.8.15

M21.8.15

M21.8.15

M21.8.15

M26.4.1

M18.10.1

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M33.11.1

M42.12.1

M43.10.5

M43.11.2

M43.11.15

M43.10.5

M42.12.1

M42.9.1

M39.6.11

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M19.8.15

M22.5.1

M21.8.15

M21.8.15

M21.8.15

M26.4.1

M18.10.1

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M33.11.1

M42.12.1

M43.10.5

M43.11.2

M43.11.15

M43.10.5

M42.12.1

M42.9.1

M39.6.11

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M19.8.15

M22.5.1

M21.8.15

M21.8.15

M21.8.15

M26.4.1

M18.10.1

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M33.11.1

M42.12.1

M43.10.5

M43.11.2

M43.11.15

M43.10.5

M42.12.1

M42.9.1

M39.6.11

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M19.8.15

M22.5.1

M21.8.15

M21.8.15

M21.8.15

M26.4.1

M18.10.1

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M33.11.1

M42.12.1

M43.10.5

M43.11.2

M43.11.15

M43.10.5

M42.12.1

M42.9.1

M39.6.11

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M19.8.15

M22.5.1

M21.8.15

M21.8.15

M21.8.15

M26.4.1

M18.10.1

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M33.11.1

M42.12.1

M43.10.5

M43.11.2

M43.11.15

M43.10.5

M42.12.1

M42.9.1

M39.6.11

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M19.8.15

M22.5.1

M21.8.15

M21.8.15

M21.8.15

M26.4.1

M18.10.1

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M33.11.1

M42.12.1

M43.10.5

M43.11.2

M43.11.15

M43.10.5

M42.12.1

M42.9.1

M39.6.11

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M19.8.15

M22.5.1

M21.8.15

M21.8.15

M21.8.15

M26.4.1

M18.10.1

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M33.11.1

M42.12.1

M43.10.5

M43.11.2

M43.11.15

M43.10.5

M42.12.1

M42.9.1

M39.6.11

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M19.8.15

M22.5.1

M21.8.15

M21.8.15

M21.8.15

M26.4.1

M18.10.1

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M33.11.1

M42.12.1

M43.10.5

M43.11.2

M43.11.15

M43.10.5

M42.12.1

M42.9.1

M39.6.11

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M19.8.15

M22.5.1

M21.8.15

M21.8.15

M21.8.15

M26.4.1

M18.10.1

M38.11.25

M37.12.2

M36.6.11

M35.10.1

M22.8.11

M22.4.11

M33.11.1

M42.12.1

M43.10.5

M43.11.2

M43.11.15

M43.10.5

M42.12.1

M42.9.1

M39.

-12-

■ 高島城をライトアップしました

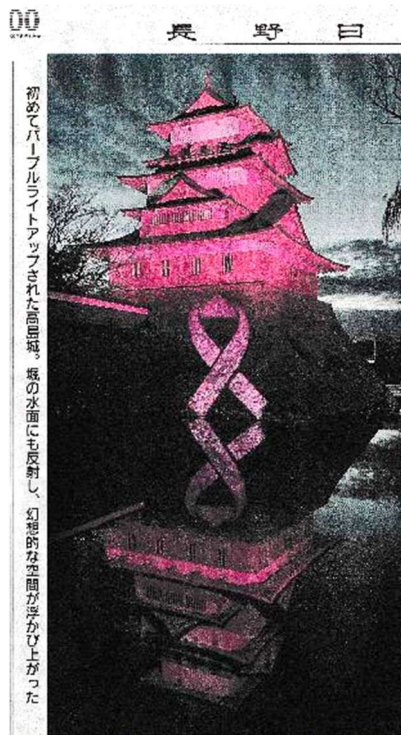
理事 鴨志田明子

「女性に対する暴力をなくす運動」期間の初日の11月12日夜の午後5時～9時まで諏訪市の高島城の東の面を啓発シンボルカラーである紫色にライトアップをしました。諏訪市と市民グループ「いきいき市民推進チーム☆輝く SUWA」（鴨志田明子代表）が企画したもので、高島城の天守閣が幻想的な紫色につつまれました。運動期間は11月25日までの2週間で、国連が定める「女性に対する暴力撤廃の国際デー」となっています。

冠木門前の点灯式で鴨志田明子代表は「パープルには正義と尊厳という意味がある。市民の皆さんに運動を広く知ってもらい、暴力が根絶されるように」とあいさつ。

なお、11月15日（土）午後1時30分から県男女共同参画センター「あいとぴあ」と共催でアンコンシャスバイアス講座」を湯小路いきいき元気館で開く。

無意識の考え方が周りに悪影響を及ぼす。アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の思い込み」や「自身で気づいていない偏ったものの見方」



幻想的「パープルリボン」

女性への暴力根絶を

運動初日 高島城初の紫光で彩り

「女性に対する暴力をなくす運動」期間初日の12日夜、諏訪市の高島城が啓発シンボルカラーの紫色にライトアップされた。各地の象徴的な建物を紫の光で彩り、被害に苦しむ女性への関心を高めてもらうイベントの一端。暴力根絶への願いを込めた光で鮮やかに照らし出された。

市と市民グループ「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」が企画。高島城ではこれまでブルーライトアップが行われてきたが、パープルライトアップは初めてという。午後5時から約4時間、10台の投光器で照らされ、天守閣が紫色に包まれた。石垣には運動のシンボルマーク「パー

プルリボン」を照射。堀の水面上にも反射し、幻想的な光の空間を生み出していた。市地蔵蔵書・男女共同参画課の藤森孝昭課長は「暴力は決して許されず、女性の人権を侵害するもので、克服すべき重要な問題」と訴え、輝くSUWAの鴨志田明子代表は「市民の皆さんにこうした活動があることを知ってもらい、暴力が根絶されることを祈る」とあいさつした。

運動期間は25日までの2週間、最終日は国連が定める「女性に対する暴力撤廃の国際デー」となっている。（杉本哲也）



城の堀の中より

会員募集中

いきいき市民推進チーム☆SUWA ってどんな団体？

私たち「いきいき市民推進チーム☆輝く SUWA」は、性別にとらわれず互いに人権を尊重し、個性と能力を発揮して社会のあらゆる分野に対等な構成員として参画でき、ともに先人を担う「男女共同参画社会」の実現を目指し取り組んでいます。

社会や地域との関りを持ち、自分らしくいきいきと生きたい方、男女共同参画社会に関心がある方ならどなたでも大歓迎！日頃の活動が難しくても、イベントの参加だけでもOK！お気軽にお問合せください。

■学校のプールをビオトープに 岡谷北部中学校 3年生

令和7年6月2日(火)岡谷北部中学校グループ学習

参加 中学生9人

諏訪湖クラブ 高木保夫理事、八幡義雄理事

総合学習一環で釣り好きの3年生11人が5月から「諏訪湖の水産」をテーマに活動を始めた。

まずは、諏訪湖の漁業の歴史を学習するために冊子「諏訪湖の漁業とさかなたち」をテキストに昔の諏訪湖の漁法について勉強を始めた。



岡谷北部中学学習会の様子

○昔の漁法について

諏訪湖の湖面が氷結する冬でも漁業がおこなわれた

- やつか漁 夏の間に諏訪湖の湖底に大きな石を積み重ね、氷が張った冬に、その中に潜んでいる魚を獲る方法です。多い時は千を超えるヤツカ漁法が行われました。
- 氷曳漁法 氷に穴をあけその穴に網を通して48人と多くの人が網の中にいる魚たちを曳きあげました。



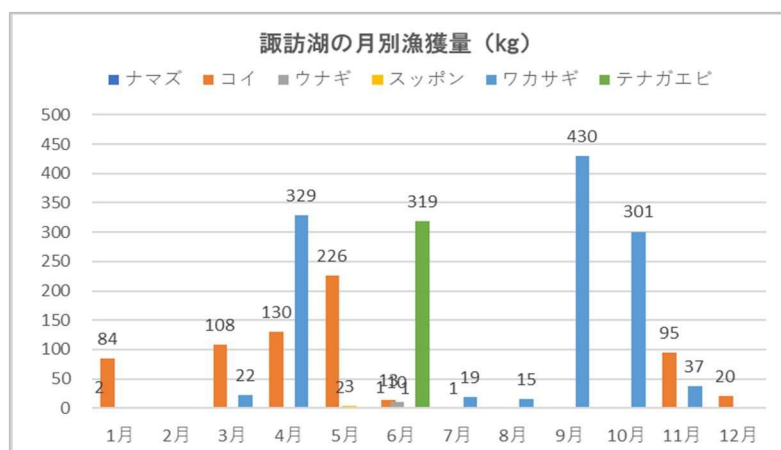
○近年諏訪湖の漁獲量が激減

湖底の土質が砂質土から泥土に代わってきたことにより貝類が激減し、それに伴い諏訪湖の漁獲量が近年激減してしまいました。

○令和7年の諏訪湖月別漁獲量

(協力/諏訪湖漁業協同組合)

- ・ワカサギは9月に429kg水揚げ
- ワカサギ釣りの解禁は11月から
- ・テナガエビ解禁の6月に319kgと突出している。



○校内プールをビオトープに

校内にある25mのプールは老朽化で水漏れがひどく使用できなくなり汚れた雨水がたまっていた。日本ビオトープの管理士会会長の高山光弘さんの指導により、地域に由来する生き物や植物が生息する空間を作り、自然環境保全や地域の交流の拠点につなげたい考え。最初は釣り堀に憧れていたが、構想はビオトープに切り替わり学びを深めているという。今後は水生植物を植えたプランターを沈め、水草を育てる計画という。



長野日報掲載記事

大勢のサンタさんが諏訪湖周を走る

理事 八幡義雄

孫を連れて諏訪湖畔を利用されている人たちの様子の写真撮影に出かけたところ、多くのサンタさんの服装の人が諏訪湖畔を走っているところに出くわしました。何のイベントかわからなかったのですが孫は大喜びでした。翌日の新聞を見て何のイベントか知りました。

闘病でクリスマスを自宅で過せない入院中の子供たちを元気づける「長野グレートサンタラン」が11月2日下諏訪町の赤砂崎公園を主会場に開かれた催しで、参加費や物販収益などでおもちゃや文房具を購入し入院中の子供たちに送るチャリティーイベント。真っ赤なサンタの衣装を着た約100人の参加者が秋フカマル諏訪湖畔を走ったり歩いたりしながら活動をPRした。

サンタ姿でランニングやウォーキングを楽しむ参加費などを病気で戦う子供たちへのクリスマスプレゼントの購入費に充てる世界各国で行われているチャリティーで国内では2009年に大阪で始められた。

県ライオンズクラブなどが約120社の共催で、サンタランは下諏訪町赤砂崎公園を発着点として下諏訪町諏訪湖博物館付近で折り返す約6キロメートルのコースで行われた。



秋深まる湖畔でPR



サンタ衣装で秋めく湖畔を歩く参加者



闘病でクリスマスを自宅で過せない入院中の子どもたちを元気づける「長野グレートサンタラン」(実行委員会主催)が2日、下諏訪町の赤砂崎公園を主会場に開かれた。参加費や物販収益などでおもちゃや文房具を購入し、入院中の子どもたちに贈るチャリティーイベント。真っ赤なサンタ衣装を着た約100人の参加者が、秋深まる諏訪湖畔を走ったり歩いたりしながら活動をPRした。(紙武司)

100人がランニングやウォーキング満喫

サンタ姿でランニングやウォーキングを楽しむ参加費などを病気で戦う子供たちへのクリスマスプレゼントの購入費に充てる世界各国で行われているチャリティーで国内では2009年に大阪で始められた。今年も県ライオンズクラブなどが共催、約100社の協賛で開催。サンタランは同公園を発着点として、下諏訪町の諏訪湖博物館付近で折り返す約6キロメートルのコースで行われた。真っ赤なサンタ衣装を着た参加者は、秋を満喫しながらゆっくりと走ったり歩いたりして、闘病中の子どもたちに思いを寄せていた。

主会場の公園内では、岡谷消防音楽隊や岡谷大鼓の演奏が披露されたほか、サンタコンテストやタンバヘル大会、抽選会なども実施。各種キックチャッカーも出店し、にぎわっていた。

同実行委では今年、諏訪赤十字病院や信濃医療福祉センター、岡谷市市民病院、県立こども病院など、県内6施設に「サンタラン」を贈呈予定。山崎賢一(三井物産)社長は「病気で闘う子どもを元気づけるチャリティー。誰もが参加し、これからの世に引き継いでいきたいと思います」と話していた。

11月3日長野日報掲載記事



諏訪湖博物館前で撮影
孫は多くのサンタさんを見て興奮していました



下諏訪町承知川河口付近

(1) 2025年(令和7年) 12月10日 水曜日 1200

闘病中の子たちに Xマスプレゼント

長野グレートサンタラン実行委

諏訪赤十字病院で行われた贈呈式

闘病中の子供たちに、サンタさんからプレゼントが届きました。参加費や物販収益などでおもちゃや文房具を購入し、入院中の子供たちに贈るチャリティーイベント。真っ赤なサンタ衣装を着た約100人の参加者が、秋深まる諏訪湖畔を走ったり歩いたりしながら活動をPRした。

今年も県ライオンズクラブなどが共催、約100社の協賛で開催。サンタランは同公園を発着点として、下諏訪町の諏訪湖博物館付近で折り返す約6キロメートルのコースで行われた。真っ赤なサンタ衣装を着た参加者は、秋を満喫しながらゆっくりと走ったり歩いたりして、闘病中の子どもたちに思いを寄せていた。

主会場の公園内では、岡谷消防音楽隊や岡谷大鼓の演奏が披露されたほか、サンタコンテストやタンバヘル大会、抽選会なども実施。各種キックチャッカーも出店し、にぎわっていた。

同実行委では今年、諏訪赤十字病院や信濃医療福祉センター、岡谷市市民病院、県立こども病院など、県内6施設に「サンタラン」を贈呈予定。山崎賢一(三井物産)社長は「病気で闘う子どもを元気づけるチャリティー。誰もが参加し、これからの世に引き継いでいきたいと思います」と話していた。

12月10日長野日報掲載記事

琵琶湖 湖北野鳥センターの紹介です

滋賀県琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課

昭和63年（1988年）水鳥の保護と自然環境の保全の啓発を目的に、長浜市湖北町の湖岸一帯を「湖北水鳥公園」として整備され、その中心施設として同年11月18日に「湖北野鳥センター」が開設されました。鉄骨造2階建 280平方メートル



琵琶湖 湖北野鳥センターと琵琶湖水鳥・湿地センター



湖北野鳥センター位置図

(2)琵琶湖 水鳥・湿地センター

平成5年（1993年）に琵琶湖がラムサール条約湿地になったことから、水鳥の保護と湿地の保全推進を目的とする施設として「湖北野鳥センター」に隣接・接続する形で平成9年（1997年）5月14日に開設されました。鉄骨造2階建（一部3階建）472平方メートル



望遠鏡（20台設置）で湖岸の野鳥を観察できます。



琵琶湖の魚を捕らえて生活



ライブカメラでセンター前の様子を映しながら職員が説明してくれます。
剥製や水鳥の声などの資料展示もたくさんあります。



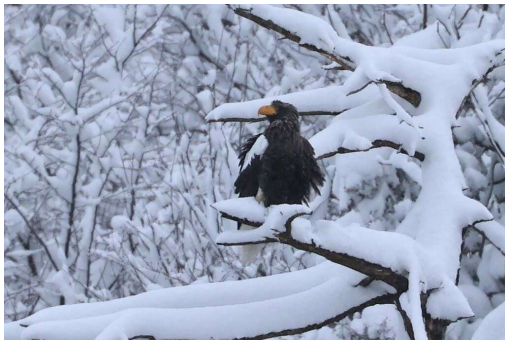
琵琶湖には今年もオオワシがやって来ました

山岡和芳さんのブログ「びわこオオワシ夢日記」より。琵琶湖に生息する鳥たち、とくにオオワシについては詳しく素晴らしい写真を覗くことができます。令和7年度のシーズンも令和7年11月12日オオワシが琵琶湖に飛来27シーズン連続です。

山岡和芳さんは滋賀在住のワシタカ写真専門家です。山でイヌワシ、クマタカを、冬はびわ湖でオオワシ狙いで写真を撮影。NHK おはよう日本で紹介されました。関テレのよーいドンでびわ湖のオオワシ第1人者で「となりの人間国宝」に認定されました。

琵琶湖にやって来る渡り鳥オオワシの紹介

平成10年（1998年）から琵琶湖に飛来するオオワシは、山本山をねぐらとしているところから「山本山のおばちゃん」と親しまれています。



積雪量が多い年は生活が大変



山本山 琵琶湖の湖北の山（標高 324m）
毎年1羽のメスのオオワシが越冬のために飛来し、この場所をねぐらにして居るそうです。



冊子「諏訪湖を愛したオオワシ『グル』の記録」を手にした
湖北野鳥センター長の植田潤さん（右）と有名な写真家の山岡和芳さん

琵琶湖をフィールドとして活躍されている写真家 山岡和芳

救助、介護から飼育、放鳥までの苦労のくだりに心を打たれました。ビルなどの構造物をバックに飛ぶ写真と氷上にたたずむグルは、びわ湖では見られない風景です。グルは都会型、びわ湖のオオワシは田舎型かなと思いました。びわ湖のオオワシ、読売テレビのみんなの動物園で4月に放映予定で収録が終わりました。電波に乗って世界を駆け巡るオオワシって素晴らしいです。

湖沼法に基づく琵琶湖諏訪湖水質保全計画

琵琶湖の概要						位置図																																					
項 目	単位	内 容				 <p>かつて琵琶湖周辺に存在した内湖</p>																																					
県 名		滋賀県																																									
関係市町村		10市																																									
湖の面積	k m ²	669.3	日本1位																																								
湖の周囲	k m	235.2																																									
最大水深	m	103.5	平均水深	41.2																																							
貯水量	千 m ³	27,500,000																																									
流入河川		117河川																																									
流出河川名		瀬田川（淀川水系）																																									
流域面積	k m ²	3,848.0	流域市町村	13市6町																																							
常時満水位	m	84.731	滞在日数	4.7	年																																						
湖沼法に基づく水質保全計画						【参考】琵琶湖の歴史																																					
湖沼法適用	年	昭和60年（1985）12月				400万年前	びわ湖は三重県に誕生																																				
湖沼法	期	第8期水質保全計画				40万年前	地殻変動で現在の位置に移動																																				
期 間	年度	令和3年度～令和7年度					京都と北陸を結ぶ水上交通																																				
水質目標値	<table><tr><th colspan="2">琵琶湖</th><th colspan="2">南湖</th><th colspan="2">北湖</th></tr><tr><th colspan="2">項目</th><th>目標値R7</th><th>現状R2</th><th>目標値R7</th><th>現状R2</th></tr><tr><td rowspan="2">COD</td><td>75%値</td><td>4.5</td><td>5.3</td><td>2.8</td><td>2.8</td></tr><tr><td>平均値</td><td>3.2</td><td>3.5</td><td>2.5</td><td>2.5</td></tr><tr><td colspan="2">全窒素</td><td>0.24</td><td>0.24</td><td>0.20</td><td>0.20</td></tr><tr><td colspan="2">全リン</td><td>0.015</td><td>0.015</td><td>0.015</td><td>0.015</td></tr></table>						琵琶湖		南湖		北湖		項目		目標値R7	現状R2	目標値R7	現状R2	COD	75%値	4.5	5.3	2.8	2.8	平均値	3.2	3.5	2.5	2.5	全窒素		0.24	0.24	0.20	0.20	全リン		0.015	0.015	0.015	0.015		水産物は人々の栄養源
							琵琶湖		南湖		北湖																																
							項目		目標値R7	現状R2	目標値R7	現状R2																															
							COD	75%値	4.5	5.3	2.8	2.8																															
								平均値	3.2	3.5	2.5	2.5																															
							全窒素		0.24	0.24	0.20	0.20																															
全リン		0.015	0.015	0.015	0.015																																						
						現在も京阪地域の水がめ																																					
		近年の課題																																									
							富栄養化																																				
							水草繁茂で生態系が崩れる																																				
							魚介類の固有種減少																																				
主な取り組み	1) 水質保全に資する事業の推進 水質保全対策の推進、 良好な水質と豊かな生態系両立 気候変動対策の研究 南湖における水草異常繁茂 草取りたい肥化 湖底の環境改善 マイクロプラスチックの知見 内湖の浄化対策 多自然川づくり 2) 負荷低減対策 畜産に係る汚濁負荷軽減策 魚業における飼料の適正投与 環境こだわり農業 水すまし構想の取り組み ヨシ群落保全計画 動植物プランクトンの水質監視 3) その他、調査研究 湖沼水環境の保全 環境保全に資する森林づくり 在来魚介類の資源回復				湖岸の開発や内湖の干拓によりヨシ原が減少し生息場所が失われた																																						
					1970年台後半	石鹼運動合成洗剤→粉せっけん																																					
					1979年	リンや窒素の排出規制																																					
					2015年	びわ湖保全再生法																																					
					1992年	ヨシ群落保全条例																																					
	地域の活動																																										
	外来動植物の駆除																																										
	環境学習と意識向上																																										
	子供たちへの教育																																										
	市民対象の学習会・講座																																										
	里山・森林の保全活動																																										
課 題	富栄養化農業排水、工場排水などによって湖に多くの栄養分が流れ込み藻類やプランクトンが大量に発生し、水が緑色に握る「水盛り」1977年には湛水赤潮が発生した。外来魚の増加侵略的外来水生植物（オオバナミズキンバイ）の繁茂が問題化又在来魚イサザ、セタシジミ等の激減が顕著で水中の酸素濃度の低下や漁場の生産力の低下が影響している。かつて260はあったヨシ群落藻も干拓や埋め立てで一時期は減少しましたが植栽などにより回復傾向にあります。																																										

理事会報告

第176回 令和7年10月19日（日）午前10時00分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野、金子、長崎、井上、宮坂、山村、市川、鬼頭、田辺、池田、高木、八幡 12人

1. 信毎賞受賞を祝う会 72名参加 沖野会長からお礼
2. クラブニュース45号発行 24ページ
3. 世界湖沼会議の歴史

1984年第1回は滋賀県琵琶湖、期間8/27～8/31

2025年第20回はオーストラリア・ブリスベン

2024年12月第79回国連総会で8月27日が「世界湖沼の日」に制定されました

第〇回は諏訪湖にやって来るかも

4. 市民レベルの活動

琵琶湖「みんなで大津」代表守口行雄

行政 滋賀県/三日月大造、長野県/阿部守一、茨城県/大井川和彦、鳥取県/平井伸治、島根県/丸山達也

第177回 令和7年11月16日（日）午前10時00分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野、八幡、市川、宮坂、長崎、田代、金子、鴨志田、田辺、池田、中島、高木 12人

- 1) 諏訪湖創生ビジョン総会

令和8年2月4日(水)

講演：「水環境～諏訪湖を学ぶ」

講師：GKP 栗原秀人さん

- 2) 5湖連携/井上祥一郎

- 3) 国指定有形重要文化財「丸高蔵」の活用/宮坂平馬
丸高蔵鰍沢蔵、丸高蔵吉沢蔵、丸高蔵店舗（2011年登録） 宇宙図の活用

- 4) 諏訪天文同好会 会長茅野勝彦（岡谷市）
宇宙に親しみを子どもたちに望遠鏡 諏訪天文同好会と八ヶ岳総合博物館、小平昭彦、三澤勝衛

- 5) 高見石小屋 原田茂
小屋の裏の展望台からは、白駒池や日の出・夕日が、夜は天体望遠鏡を使っのスターウォッチング。小屋は原生林に囲まれ苔が見事。

諏訪湖クラブニュース No.46号 令和8年1月発行

企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局

発行人：沖野 外輝夫 TEL/FAX 0266-58-0490

E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

<https://suwako-club.com/about.html>

編集人：八幡 義雄

次号47号は令和8年4月の理事会にて発行予定です

事務局日誌 令和7年10月～

- 10/2 沖野会長信毎賞受賞を祝う会
- 10/5 諏訪湖の日 諏訪湖環境研究センター公開/沖野会長講演
- 10/10 安曇野市犀川にコハクチョウ二羽飛来
- 10/18 講演;スポーツ報道/山田雄一
- 10/18 グル紙芝居講演下諏訪南小
- 10/20 諏訪湖通信 88号発行
- 11/2 諏訪湖グレートサンタラン
- 11/12 高島城をライトアップ
- 11/12 びわ湖にオオワシ飛来
- 11/20 諏訪湖通信 89号発行
- 11/23 すわ湖鉄道フェスタ開催
- 12/03 諏訪湖にコハクチョウ二羽飛来、昨年越冬した二羽か
- 12/09 日赤に入院中の子供たちに絵本などを贈呈
- 12/20 諏訪湖通信 90号発行
- 12/21 諏訪湖クラブ12月忘年会

新入会員さん紹介

○よろしくお願ひします
両角安彦さん
茅野市湖東 1175

編集後記

11月21日に令和9年前期のNHK朝ドラは諏訪湖周辺が舞台で俳優の森田望智さん（29）が主演すると発表されました。タイトルは「巡（まわ）るスワン」で、脚本はお笑い芸人のバカリズムさん（49）が担当されるそうです。いよいよ令和8年秋にクランクインの予定で、諏訪湖周辺で撮影が始まるようです。諏訪湖の風景をバックに諏訪湖を親しむ人たちが写されると思いますが今から楽しみです。すわ湖鉄道フェスタでお会いした諏訪観光協会の佐久秀幸会長は「中央道・諏訪湖スマートインターチェンジ」が開通し、諏訪地域全体で観光客を歓迎するムードがあるので、拍車がかかるので嬉しいと話されていました。